

建屋カバー解体に向けた飛散防止剤散布と調査の状況について  
(平成26年10月22日実績)

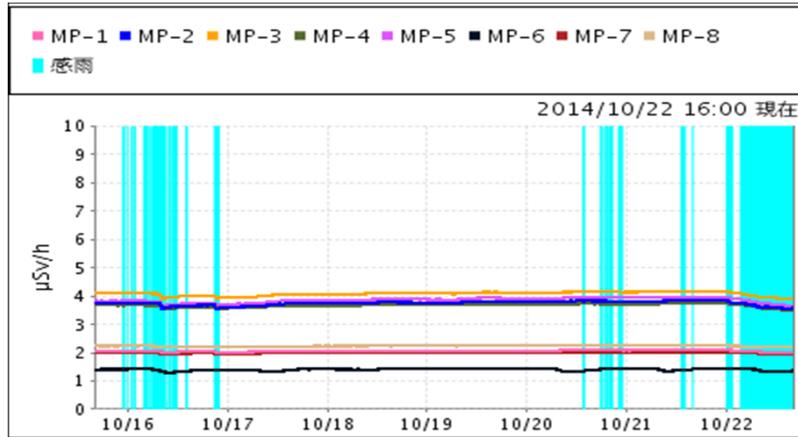
平成26年10月22日

1. 本日(10月22日)の作業項目

- 北1屋根パネル孔開けおよびカバー内部への飛散防止剤散布

2. 敷地周辺および敷地内への影響

- (1) 敷地境界のモニタリングポスト : ● (有意な変動:  $+2 \mu\text{Sv/h}$ 以上の変動)  
 ・ 有意な変動はありませんでした。



- (2-1) 作業現場のダストモニタ[1号機] : ● (警報設定値:  $5 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ )  
 ・ 警報の発報はありませんでした。

- (2-2) 3号機原子炉建屋のダストモニタ : ● (警報設定値:  $5 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ )  
 ・ 警報の発報はありませんでした。

- (3) 建屋周辺のダストモニタ : ○ (警報設定値:  $1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ )  
 ・ 警報の発報はありませんでした。

- (4) 構内のダストモニタ : ● (警報設定値:  $1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ )  
 ・ 警報の発報はありませんでした。

- (5) 敷地境界付近のダストモニタ : ▲ (警報設定値:  $1 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ )  
 ・ 警報の発報はありませんでした。

(参考) モニタリングポストとダストモニタの設置地点



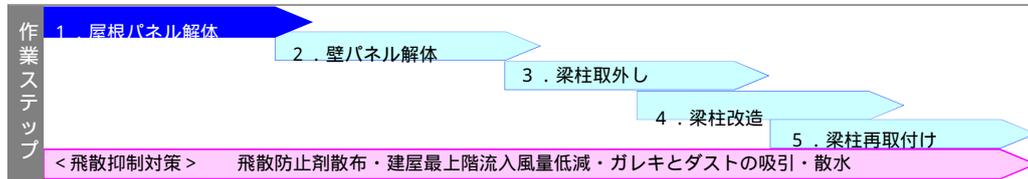
モニタリングポストのリアルタイムデータにつきましては、当社ホームページ「福島第一原子力発電所構内でのモニタリングポスト計測状況」  
<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/index-j.html> からご覧いただけます。

(補足)

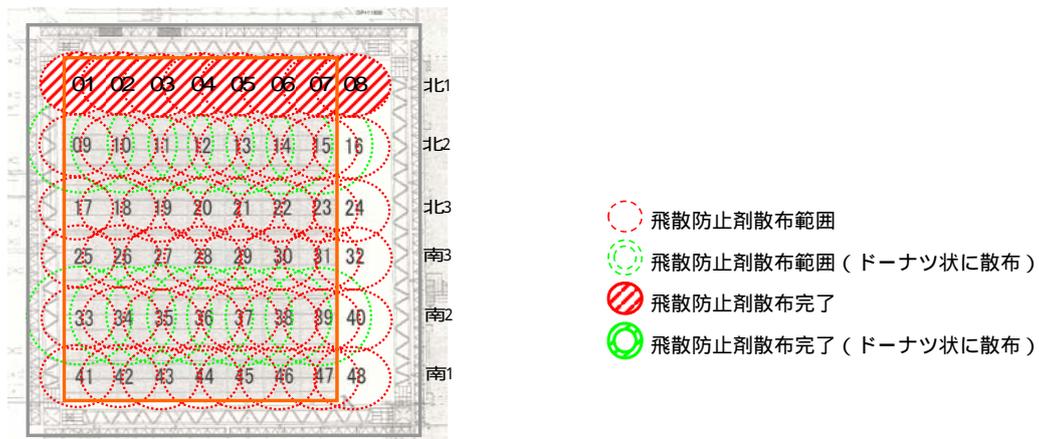
- 作業現場のダストモニタの警報設定値は、敷地境界のモニタリングポスト周辺に設置したダストモニタの警報設定値( $1.0 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ )を元に、放射性物質の拡散を考慮して保守的に $5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ と設定した。
- 建屋周辺および構内のダストモニタの警報設定値( $1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ )は、当社が規定するマスク着用基準(線量告示の第4欄「放射線業務従事者の呼吸する空気中の濃度限度(Cs-134代表)」の10分の1相当)の2分の1を設定。

3. 本日（10月22日）の作業状況

- (1) 作業時間  
6時23分～13時23分
- (2) 作業前の風向/風速  
北よりの風 / 6[m/s]
- (3) 作業ステップ



- ・飛散防止剤の散布範囲：床面（建屋最上階）、屋根（裏面）



4. 明日（10月23日）の作業予定項目

- ・北2、北3屋根パネル孔開けおよび飛散防止剤散布  
（作業予定時間：6時00分～15時00分）

5. その他

本日実施した屋根パネルでの孔開け作業および飛散防止剤散布作業に伴い、4号機タービン建屋海側でダストサンプリングを実施。その結果、従来から定期的に行っている1～4号機近傍海側でのダストサンプリングの測定結果と同程度であったことを確認。

<測定結果：試料採取日時 平成26年10月22日 7:22～7:52>  
 Cs-134：検出限界値未満（検出限界値：3.0E-7 Bq/cm<sup>3</sup>）  
 Cs-137：8.7E-7 Bq/cm<sup>3</sup>（検出限界値：4.7E-7 Bq/cm<sup>3</sup>）

以上